

授業科目名： ダイバーシティと教育	教員の免許状取得のための 選択	単位数： 1単位	担当教員名：藪田 直子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目（指定大学が加える科目）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標 多様性とその価値について基本的理念を理解し、社会的共生（包摂性）の基本的なありようを理解する。また教育の現場において、子どもたちがもつ多様な背景を正しく捉え、人びとの多様性を尊重しながら活動し、自身の教育実践を組み立てることができるようになる。			
授業の概要 本授業では、現代社会におけるダイバーシティ（多様性尊重）の基本的理念を概説する。多様性を認めあう共生社会の構成員としての教師の姿を想定しながら、受講者ひとりひとりの理解と体験を促す。また、ダイバーシティ教育がめざす、子どもの多様性および、社会的包摂（社会的共生）を重視する学校教育のあり方やその価値について、受講生とともに考察する。			
授業計画 第1回：オリエンテーションー現代社会におけるダイバーシティとは 第2回：日常・社会生活におけるダイバーシティ事象の省察 第3回：教育改革の動向とダイバーシティ教育 第4回：ダイバーシティ教育のために求められる教師の資質・能力 第5回：学校教育における多様性（1）地域と学校：大阪の学校における歴史と現在 第6回：学校教育における多様性（2）性の多様性と学校 第7回：社会的共生（包摂性）の可能性と展望 第8回：ダイバーシティとインクルージョンの教育ー総括とディスカッション			
テキスト 授業中に適宜資料を配布する。			
参考書・参考資料等 岩淵功一編著「多様性との対話-ダイバーシティ推進が見えなくするもの」青弓社、2021。 野口晃菜・喜多一馬編著「差別のないインクルーシブ教育-だれのことばにも同じだけ価値がある」学事出版、2022。 神村早織・森実編著「人権教育への招待-ダイバーシティの未来をひらく」解放出版、2019。			
学生に対する評価 レポート（25%×2回=50%）、授業内課題（40%）、授業での発表内容（10%）			

授業科目名： 生徒指導・進路指導論	教員の免許状取得のための 選択	単位数： 2単位	担当教員名：鈴木 恵一 担当形態：単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 		
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>授業のテーマ：</p> <p>生徒指導・進路指導の意義と役割を踏まえ、今日的な諸課題について具体的事例をもとに、考察・演習を通じて実践的指導力を養い、多様な価値観を認める地域共創の理念に基づいた教育と学校のあり方について理解を深める。</p> <p>到達目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒指導・進路指導の意義と役割について理解を深める。 (2) 生徒指導・進路指導に必要な知識と技能を身に付ける。 (3) 多様な価値を認め自他共栄の共創社会に貢献する力を身に付ける。 			
<p>授業の概要</p> <p>改訂された『生徒指導提要』（2022年告示）の理念と方法論並びに学習指導要領（小中学校2017年告示、高等学校2018年告示）の総則に明示されたキャリア教育の基礎基本を学ぶことを通じて、人としてのあり方、生き方を探究し、将来の教師あるいは社会人として適切に「思考・判断・表現」できるよう、解説と演習を重ねる授業とする。</p>			
<p>授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 生徒指導の意義・役割（中教審答申、学習指導要領、生徒指導提要） 第2回 生徒指導提要（生徒指導の4層構造と重層的支援、発達支援） 第3回 生徒指導の具体（集団・個別指導、教育相談） 第4回 生徒指導の基盤（家庭・地域との連携、スクールワイドPBS） 第5回 横断的指導（教科、道徳、総合的な学習（探究）の時間、特別活動） 第6回 進路指導とキャリア教育（自己理解、自己形成、キャリアデザイン） 第7回 キャリア教育（人格の形成と個別支援、自己実現） 第8回 キャリア教育の具体（進路相談、就職・進学指導） 第9回 発達支援（障害への支援、特別支援臨床心理、認知行動療法） 第10回 進路相談（進路設計、キャリアカウンセリング、適性検査） 第11回 課題探究①（不登校、いじめ、暴力、SNS、人権、特別支援） 第12回 課題探究②（DV、虐待、マルトリートメント、貧困） 第13回 課題探究③（校則、非行・反社会的行動、少年法、懲戒） 第14回 課題探究④（教育相談、進路相談、臨床心理、認知行動療法） 第15回 課題探究⑤（就職・進学指導の相談と指導） 			

テキスト

授業時に書籍・文献を紹介し、必要に応じて資料・演習プリントを配付する。大学システムiTossの授業ページにおいても電子データで配付する。

参考書・参考資料等

- (1) 『生徒指導提要』（改訂版：令和4年12月文部科学省Web公開PDF）
- (2) 国立教育政策所 生徒指導・進路指導研究センター

学生に対する評価

平常点50% 「知識・技術」 「思考・判断・表現」 「主体的態度」（毎回のミニレポート）

小論文課題レポート50%

授業科目名： 生徒指導論	教員の免許状取得のための 選択	単位数： 1単位	担当教員名：佐藤 雄一郎 担当形態：単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・生徒指導の理論及び方法		
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>生徒指導の意義や原理を理解し、教育活動全体を通じた指導の視点と方法について説明することができる。また、今日の生徒指導上の課題とその背景に関する理解をふまえ、校内外の連携も含め、具体的な指導のあり方を構想する実践的力を培う。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>文部科学省が発行している資料、生徒指導上の課題に関する学術的知見、生徒指導に関する実践事例を用いて、今日の生徒指導上の課題に対する具体的な指導のあり方を学ぶ。各回においては、他者との意見交流やグループワーク等を通じて、協働的に学んでいく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション／生徒指導とは何か： 生徒指導の定義と目的、『生徒指導提要』の改訂</p> <p>第2回：教育課程における生徒指導の位置づけ： 生徒指導の機能、生徒指導の四視点、生徒指導の構造（二軸三類四層構造）</p> <p>第3回：児童の権利と生徒指導の方法原理： 集団指導と個別指導、児童生徒理解、児童の権利に関する条約</p> <p>第4回：児童生徒の発達と特別な教育ニーズ： 発達段階論、発達障がい等の特別な教育ニーズのある児童生徒への支援・指導</p> <p>第5回：暴力行為・いじめへの対応： 暴力行為およびいじめの実態、いじめ発生のメカニズム、いじめの対応、いじめの予防</p> <p>第6回：不登校児童生徒への支援： 不登校の実態、不登校の要因、不登校支援のあり方</p> <p>第7回：発達支持的生徒指導と集団指導： 発達支持的生徒指導、集団指導と個別指導の固有性と関連性、ルールに関する指導方法、自治的な活動の指導方法</p> <p>第8回：まとめ</p>			
<p>テキスト</p> <p>特に指定しない。</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>・文部科学省『生徒指導提要 令和4年12月』東洋館出版社 2023年</p>			

・文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編』東山書房 2019年
加えて、授業内容および学生のコメントに応じて、レジュメおよび参考資料を配布する。

学生に対する評価

各回の課題提出（40%）、レポート試験（60%）

授業科目名： 進路指導論	教員の免許状取得のための 選択	単位数： 1単位	担当教員名：佐藤 雄一郎 担当形態：単独
科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>進路指導及びキャリア教育の意義や原理を理解し、教育活動全体を通じた指導の視点と方法について説明することができる。また、今日の進路指導及びキャリア教育の課題に関する理解をふまえ、校内外の連携も含め、具体的な指導のあり方を構想する実践的力量を培う。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>文部科学省が発行している資料、進路指導及びキャリア教育の課題に関する学術的知見、進路指導及びキャリア教育に関する実践事例を用いて、今日の進路指導及びキャリア教育の課題に対する具体的な指導のあり方を学ぶ。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション／進路指導・キャリア教育とは何か： 進路指導の定義と目的、キャリア教育の定義と目的、『キャリア教育の手引き』の改訂</p> <p>第2回：教育課程における進路指導・キャリア教育の位置づけ： 教育課程における進路指導・キャリア教育の機能、ガイダンス、カウンセリング、育成すべき資質・能力（四領域八能力）、進路指導・キャリア教育の課題、</p> <p>第3回：進路指導・キャリア教育における教職員・家庭・関係機関との連携： 進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制、家庭や関係機関との連携</p> <p>第4回：職業に関する体験活動とカリキュラム・マネジメント： 職業に関する体験、特別活動や総合的な学習の時間等との関連、カリキュラム・マネジメント、実践事例</p> <p>第5回：キャリア教育の視点に立った授業改善と評価改善 キャリア教育の視点に立った授業改善、ポートフォリオの活用等の評価改善、実践事例</p> <p>第6回：生徒に応じた進路指導・キャリア教育 生徒に応じた個別の進路指導・キャリア教育の課題、キャリア・カウンセリング、実践事例</p> <p>第7回：社会的・職業的自立と進路指導・キャリア教育／まとめ 社会的自立とは何か、職業的自立とは何か、実践事例</p> <p>第8回：まとめ</p> <p>テキスト 特に指定しない。</p>			

参考書・参考資料等

- ・文部科学省『中学校・高等学校キャリア教育の手引き』実業之日本社 2023年
 - ・文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編』東山書房 2019年
- 加えて、授業内容および学生のコメントに応じて、レジュメおよび参考資料を配布する。

学生に対する評価

各回の課題提出（40%）、レポート試験（60%）